

第43回 自然史標本データ整備事業による標本 情報の発信に関する研究会 「自然史系博物館資料のデジタルアーカイブ化と公開」

2024年6月22日(土) 13時30分～16時00分

主催：国立科学博物館

協力：NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク

注意事項

- ・可能であれば、ご自身の名前を正しくご表示ください。
- ・発言時以外はマイクとビデオをオフにしてください。

お願い

- 可能であれば、ご自身の名前を正しくご表示ください。
下部のタスクバーで[参加者]をクリックして[参加者]ペインを開き、参加者名の右側をクリックし、[名前の変更]を選択して名前を変更します。
- 発言時以外はマイクとビデオをオフにしてください。
画面の下にマウスを動かすと、下のタスクバーが表示されます。タスクバーの[ミュート]および[ビデオの停止]をクリックし、マイクをミュートに、カメラをオフにすることができます。
- 質問は挙手もしくは[チャット]でお知らせください。
「送信先」から「全員」を選び、「ここにメッセージを入力します・・・」に入力して送信してください。
- 参加者側での録音・録画はご遠慮ください。
発表資料は研究会終了後に公開予定です。

注意事項

- 質疑応答は、個別講演の後、およびすべての講演が終わった後に行います。
- 本会合では事務局側で一部講演等を録画しますので、予めご了承ください。録画された動画は対象者・期間限定で公開される予定です。
- 本会合の講演資料は、終了後にS-Netウェブサイトから公開予定です。
- 休憩の際には、できれば一旦退室せず、マイクとビデオをオフにしたままでお待ちください。
- 画像や音声途切れるなど、インターネット接続が最適でない場合は、カメラの電源を切る、Zoomの再起動、PCの再起動等を試みてください。
- 終了後に本研究会に関するアンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

第43回S-Net研究会

2023.6.22

イントロダクション

国立科学博物館
標本資料センター
神保 宇嗣



生物標本

＝ある生物がいつ、どこにいたかを示す物的証拠
＝さまざまな形で利用できる資源

膨大な標本の蓄積



モノ＝標本としての
利活用

コト＝情報としての
利活用

標本のデジタル化

標本・資料の情報をパソコン等で入力
コンピュータを通じて利用可能な形にする



標本ラベル
(名称・採集日・収蔵場所等)



写真撮影

博物館A



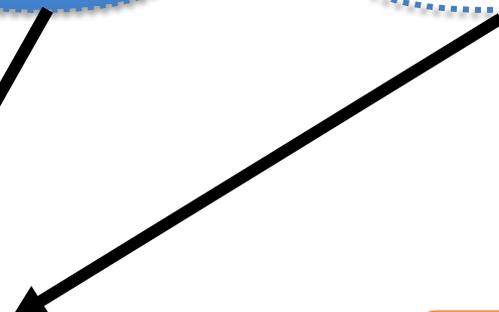
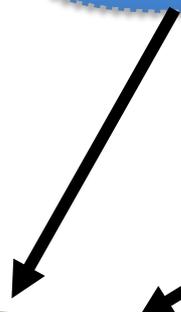
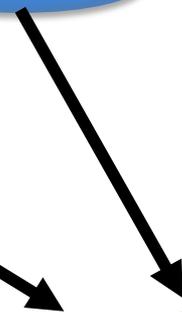
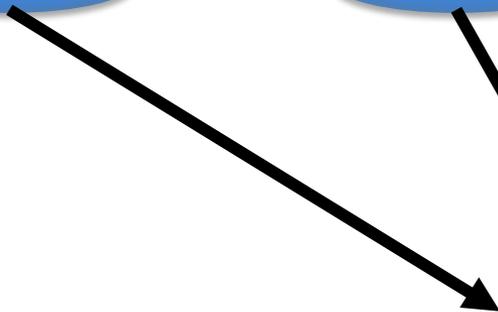
博物館B



博物館C



博物館D



サイエンスミュージアムネット (S-Net)

- 国立科学博物館が運営する自然史標本データ共有ネットワーク
- 博物館・研究所など100以上機関
- 約739万件の標本等データ
- グローバルなデータベースとの共有



<https://science-net.kahaku.go.jp/>

「ミヤマカラスアゲハ」を検索



サイエンスミュージアム ネット
Science Museum Net S-Net

レコード種別

PreservedSpecimen (3,750)

機関名 (日本語)

姫路科学館 (607)

ふじのくに地球環境史ミュージアム (586)

[もっと見る](#)

コレクションコード

In (672)

IS (586)

[もっと見る](#)

国 (日本語)

日本 (3,304)

日本国 (55)

[もっと見る](#)

都道府県 (日本語)

北海道 (614)

栃木県 (276)

[もっと見る](#)

タイプ標本種別

Holotype (4)

学名

[ホーム](#) > 検索結果

自然史標本情報

該当件数: 3,750 件 (1-20件目)

20 件ずつ表示

ソート順

ダウンロード 絞り込み検索

1 2 3 4 5 6 >>

No	学名	和名	記録年月日 (始め)	国 (日本語)	都道府県 (日本語)	機関名 (日本語)
1	Papilio maackii maackii Menetries, 1859	ミヤマカラスアゲハ・名義タイプ亜種	*****			姫路科学館
2	Papilio maackii Menetries, 1858	ミヤマカラスアゲハ	19750518	日本	埼玉県	琉球大学博物館 (風樹館)
3	Papilio maackii Menetries, 1858	ミヤマカラスアゲハ	19920329	日本	北海道	琉球大学博物館 (風樹館)
4	Papilio maackii Menetries, 1858	ミヤマカラスアゲハ	19790813	日本	北海道	琉球大学博物館 (風樹館)
5	Papilio maackii Menetries, 1858	ミヤマカラスアゲハ	19910624	日本	鹿児島県	琉球大学博物館 (風樹館)

生物多様性情報とは？

おもに「種の多様性」に関するデータ
分類学的な情報が中心

- 分類群に関する情報（種名、上位分類群...）
- 分布に関する情報（標本、観察データ...）
- 種に関する情報（特徴、分布...）
- マルチメディア（画像、動画、音声...）
- 塩基配列（DNAバーコード...）

日本生物多様性情報イニシアチブ (JBIF)

- 日本の生物多様性データを国内外に発信
- 国立科学博物館・国立遺伝学研究所・国立環境研究所が運営を担当
 - 文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)の補助を受ける

The screenshot shows the homepage of the Japan Initiative for Biodiversity Information (JBIF). The header includes the JBIF logo and navigation links for Home, About Us, and Contact. Below the header, there are sections for 'Home' featuring a grid of nature images and a 'このWebサイトについて' (About this website) section. The 'About' section explains that JBIF is a platform for sharing biodiversity data and lists links for 'JBIFについて' (About JBIF). There are also sections for '最新情報' (Latest News) and 'イベント情報' (Event Information), with the latter mentioning a digital archive project by the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST).

<https://gbif.jp/>

The screenshot shows the homepage of the National BioResource Project (NBRP). The header features the NBRP logo and navigation links for Home, Site Map, and Language (Japanese/English). Below the header, there are navigation tabs for 'NBRPについて' (About NBRP), 'リソース検索' (Resource Search), 'リソース入手方法' (How to Access Resources), '活動成果・進捗' (Activities and Progress), '広報活動' (Publicity Activities), and '公募情報・採択情報' (Public Information and Selection Information). The main content area has a banner for 'MICROBES' with the text 'ライフサイエンスはバイオリソースとともに' (Life Science with Bioresources). Below the banner, there are sections for 'イベント' (Events) and 'お知らせ' (Announcements), listing upcoming conferences and updates. A sidebar on the right contains links for 'リソース利用者の皆様へ' (For Resource Users) and '民間企業の皆様へ' (For Private Companies).

<https://nbrp.jp/>



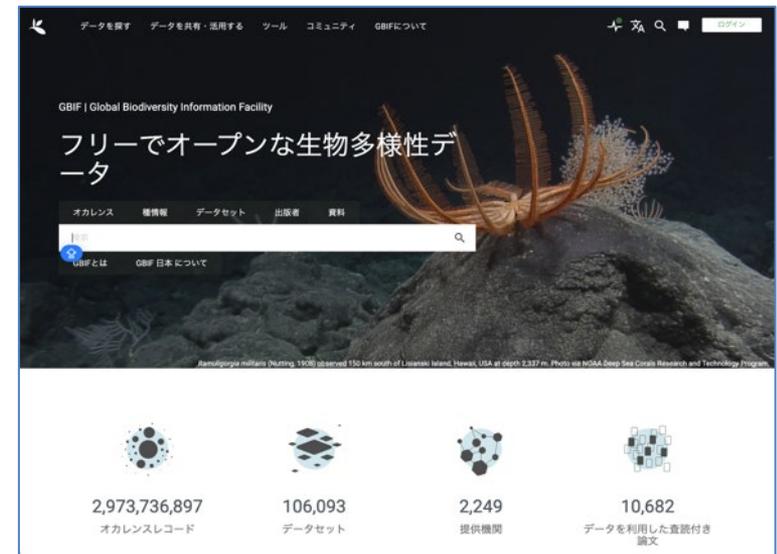
JBIF・NBRPウェブサイトからダウンロードできます



地球規模生物多様性情報機構

Global Biodiversity Information Facility (GBIF)

- 生物多様性情報を誰でも利用可能にするための国際的プラットフォーム
- 各国の拠点(ノード)を通じて集約
- 29.7億件の標本・観察データを集積(2024年6月現在)
- GBIFが収集したデータはGBIFに提供され国際的に公開



GBIFデータを利用した研究

- GBIFはオープンサイエンスに資する活動
- 2022年度にGBIFデータを引用した研究
 - 約1,500本
 - アメリカ・中国が多い
- 進化・生物地理・気候変動・生態系サービス・保全生物学・外来種・ヒューマンヘルス等

GBIF・JBIFウェブサイトからダウンロードできます

N° 10

Science Review

サイエンスレビュー

デジタルアーカイブとは

デジタルアーカイブ＝様々なデジタル情報資源を
収集・保存・提供する仕組み全体

- コンテンツ(アナログ・デジタル) 標本
- プレビュー(サムネイル等) 縮小画像
- メタデータ(コンテンツに関するデータ) ラベルデータ

標本・資料にとどまらないデジタル化
新しい切り口での活用の促進

博物館法の改正（2022.4成立）

デジタルアーカイブ構築を博物館の事業として明記

第三条 博物館は、前条第一項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

（略）

三 博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること。

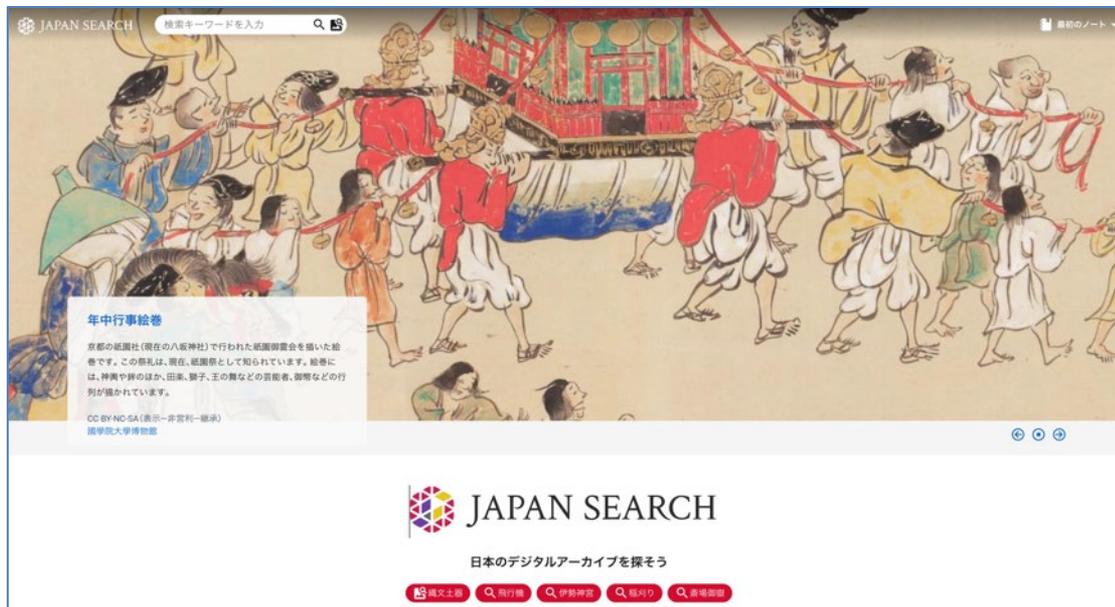
情報の
保存・体系化

標本・資料の
公共化

標本・資料の
活用促進

ジャパンサーチ

- 国内のさまざまなデジタルアーカイブの横断検索システム
 - 収蔵品・図書・映像・地域資料・展覧会...
- S-Netのデータもジャパンサーチへ提供



S-Net/GBIFとデジタルアーカイブ

- S-Netの活動はオープンサイエンスでもありデジタルアーカイブでもある
 - GBIFはオープンサイエンスのプロジェクト
 - S-Netはジャパンサーチへもデータを提供する
自然史博物館データの「つなぎ役」(アグリゲータ)
- 共通: データを広く利用できる形で公開
 - オープンデータでの公開
- 相違: 力点はどこにあるか?
 - オープンサイエンス: ラベルデータそのものが中心
 - デジタルアーカイブ: 画像が中心、ラベルは補足

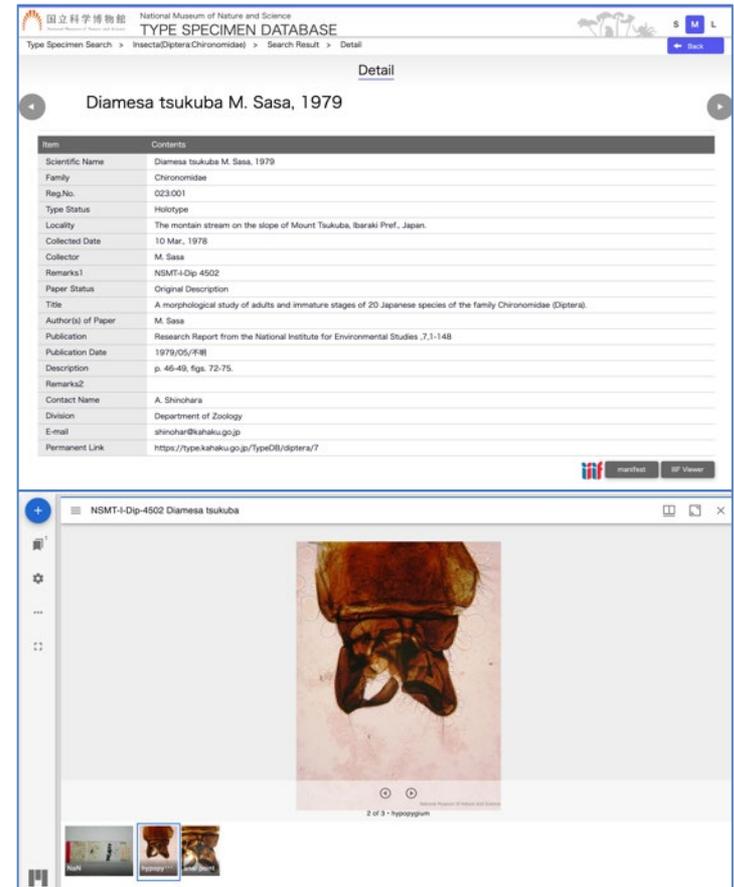
「メタデータ」の不一致

メタデータ＝「データのデータ」
コンテンツについて補足的に説明する情報

- オープンサイエンスとして
 - コンテンツ＝ラベルデータ
 - メタデータ＝「データセット」の説明や連絡先等
- デジタルアーカイブとして
 - コンテンツ＝画像
 - メタデータ＝画像の説明＝ラベルデータ

S-Netとデジタルアーカイブとの 連携強化に向けて

- 各館の取り組みとの連携
- 画像公開のための強化
 - システム強化
(画像保存・IIIF対応・ジャパンサーチ連携強化)
 - 画像提供の仕組みづくり
- データ活用機能の強化
 - Web APIの本格運用
 - ジャパンサーチ機能の活用



国立科学博物館タイプ標本
データベース (IIIF対応)

<https://type.kahaku.go.jp/TypeDB/detail?cls=diptera&pkey=diptera-000007>

プログラム

- 開催挨拶、注意事項
- イントロダクション(趣旨説明等) 神保 宇嗣(国立科学博物館)
- 講演1: デジタルアーカイブと博物館 井上 透(岐阜女子大学)
- 講演2: ジャパンサーチ連携とコンテンツ利活用 眞籠 聖(国立国会図書館)
- 講演3: 地域博物館のDA 関連の活動例 — 琵琶博の取り組み 大槻 達郎(滋賀県立琵琶湖博物館)
- 講演4: デジタルアーカイブの標準規格IIIF の紹介 青柳和仁(島根大学附属図書館)
- 全体での質疑など